



開倫ユネスコ協会 NewsLetter

第66号

足利市堀込町145 Tel 0284-72-5915

発行者 林 明夫 2011年9月1日

United Nations Educational, Scientific and Cultural Organization (UNESCO)

東日本大震災 支援協力の御報告

このたびの東日本大震災では、多くの方々が被災され、家や家族を失って苦しんでいらっしゃる方々に対しおかけする言葉も見つからず、心痛いばかりかとお察し申し上げます。一日も早い復興をお祈りするばかりです。

開倫ユネスコ協会では下記の主催および共催行事において、参加された団体、関係者の方々約 7000 名から心暖まるご支援をいただきました。

1. 第12回 KAIRIN 杯ドッジボール選手権大会での募金、メッセージボードなど
2. 第6回全国模擬授業大会での募金、メッセージボードなど
3. 開倫塾全校舎からの色紙などのメッセージボード

4月24日、「第12回 KAIRIN 杯ドッジボール選手権大会」を開催した際、参加50チームの監督や選手の皆さんから募金、メッセージボードなどをお預かりしました。また、5月29日、「第6回全国模擬授業大会」の際、参加された教育関係者の方々から募金、メッセージボードに励ましの言葉をたくさんいただきました。参加していただいた方は、栃木県をはじめ、群馬県、茨城県、千葉県、東京都など関東地区、また愛知県や京都府など関西方面在住の方も含まれ、心を寄せ合いみんなで克服できれば幸いとの思いで書いたものです。

また、これからの日本のことを真剣に考えている小学生、中学生、高校生から励ましのメッセージをいただきました。メッセージボードにご協力いただいた方々は、おもに開倫塾の塾生さんたちです。日頃は勉強や部活に頑張っている子どもたちですが、このたびの大震災で小さな心に思うことがたくさんあったようです。それらを自分の言葉に表現し、メッセージボードに書いていただきました。



以上の支援を直接お届けしたり、また公益法人日本ユネスコ協会連盟を通して協力させていただきました。募金、メッセージボード、 応援幕などの送り先は下記の通りです。

1. 仙台ユネスコ協会様
2. 大船渡ユネスコ協会様
3. 岩手ユネスコ連絡協議会様
4. 岩手県宮古市田老地区で活躍する医師、黒田仁様
5. 学校法人有朋学園 有朋高等学院様

上記の皆様から、近況報告などを丁寧に書いていただいた御礼状が届きました。ありがとうございました。最後に、皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げます。

平和の鐘を鳴らそう運動

国連総会は西暦 2000 年を「平和の文化国際年」と定めました。ユネスコは、この「平和の文化国際年」を推進する中心的役割を担っております。日本ユネスコ協会連盟は、国際年の意義を広く伝え、人々の心の中にある“平和の祈りと願い”を大きな力へと結集していくために、「わたしの平和宣言」と「平和の鐘（かね・おと）を鳴らそう運動」を継続して実施しております。

開倫ユネスコ協会では、8月1日「平和の鐘を鳴らそう運動」を実施致しました。当日約 900 名（学生 850 名・大人 50 名）の参加者があり、「私の平和宣言」を読み上げ、思い思いに音を鳴らしました。特に足利市内の永宝寺、ばんな寺では、ご住職の御協力もあり、平和を祈りながら鐘をつきました。

*永宝寺（住 職：高木 堅持）：8/11（木）、12：00、高木ご住職がお経を唱えたあと、参加者全員が鐘を撞きました。さらに、参加者全員で「私の平和宣言」を読み上げ、平和を祈りました。参加者：24名（学生18名・大人6名）

*ばんな寺（住 職：山越 忍隆住職）：8/11（木）、13：00、18名（学生13名・大人5名）が参加し、「私の平和宣言」を読み上げた後、鐘を鳴らしました。



永宝寺 高木堅持住職



ばんな寺 山越忍隆住職